

12月景況感・ニーズ調査

〈経営者の景気に対する判断や行政への要望と取組みに対する意見等を調査〉

平成21年12月調査結果

平成22年1月22日

なかつがわ全市緊急経済対策本部

- ・受注(売上)高は、9月のD I 値 $\Delta 5.4\%$ から $\Delta 3.7\%$ と 1.7% の改善で、発注量の減少率はほぼ同じで、増加率は縮小と拡大の両極端な傾向を示しています。全体的には改善傾向にあると思われます。また、6ヶ月先の見通しは、9月のD I 値 $\Delta 1.5\%$ から $\Delta 2.9\%$ と悪化傾向を予想しています。さらに、「不明」と回答した事業所も 3.4% と不透明感が続く見込みとなっています。
- ・採算(収益)性は、9月のD I 値 $\Delta 4.8\%$ から $\Delta 4.0\%$ と 8% と改善し、また、6ヶ月先の見通しは、 $\Delta 2.3\%$ から $\Delta 3.3\%$ と 1.0% と悪化を見込む予想となっています。
- ・従業員数は、9月のD I 値 $\Delta 1.8\%$ から $\Delta 6\%$ と 1.2% 改善し、さらに過剰感が薄れています。また、対応としてはワークシェアリングと雇用調整助成金の活用が主なものでした。次に、6ヶ月先の見通しは、9月のD I 値 $\Delta 8\%$ から $\Delta 7\%$ とほとんど変わらない予想となっています。
- ・平成22年春の採用予定は、9月44人から72人に増え、6月の75人にほぼ戻った形となっていますが、依然、新卒者等には厳しい状況が続いているものと思われます。
- ・資金繰りは、9月のD I 値 $\Delta 3.3\%$ から $\Delta 2.3\%$ と 1.0% と改善し、また、6ヶ月先の見通しは、 $\Delta 2.0\%$ から $\Delta 2.1\%$ とほぼ同じ予想となっています。
- ・行政への要望は、発注関係、地産地消の推進、農林畜産業支援、減税、住宅関係、金融支援、雇用安定などが多く要望されています。また、本部の取組みについては、肯定的なものが46件、否定的なものが10件という結果となりました。

◎全体的に改善傾向を示していますが、見通しでは悪化もしくは現状維持の見込みとなっており、景気回復までには、まだ時間がかかるものと思われます。また、雇用は、徐々に改善しているものの、まだ現有の雇用を守る傾向が強く、新規の採用は望めない状況にあるものと思われます。

【調査の概要】

1 調査の目的

市内事業所の実態と動向を把握し、現在の経済危機が市内の事業所にどのような影響を及ぼしているか、さらに今後の状況はどのようになると予想されているのかを調査し、併せて行政への要望と現在までの取組みに対する意見等を調査し、今後の緊急経済対策の分析資料とするとともに取組みに対する検証の資料とすることを目的とする。

2 調査対象

市内の事業所のうちから、中津川商工会議所及び中津川北商工会において抽出された、389事業所と農林畜産業の景況感聞き取り調査団体を対象とした。

抽出数	中津川商工会議所	289 事業所
	中津川北商工会	100 事業所
	農林畜産業団体	34 事業所
	計	423 事業所

3 調査方法

アンケート方式（調査用紙を郵送又はFAX送信して、FAXで回答）

4 調査期間

12月15日～1月15日（12月28日までの回答数が少数のため延長）

5 調査項目

【景況感調査】

- | | | |
|------------------------|--------------|-----------|
| 1) <u>受注（売上高）</u> について | { ①前年同期と比べて | ②前月と比べて |
| | ③6ヶ月先の見通し | ④1ヶ月先の見通し |
| 2) <u>採算性</u> について | { ①前年同期と比べて | |
| | ②6ヶ月先の見通し | |
| 3) <u>従業員</u> について | { ①前年同期と比べて | ②前月と比べて |
| | ③6ヶ月先の見通し | ④1ヶ月先の見通し |
| | ⑤平成22年春の採用予定 | |
| 4) <u>資金繰り</u> について | { ①前年同期と比べて | |
| | ②6ヶ月先の見通し | |

【ニーズ調査】

- 5) 行政に望むもの
6) なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

6 回答数

222件（1月18日回答分を含む）

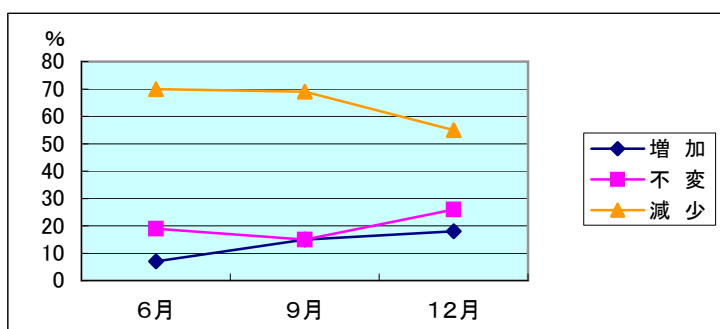
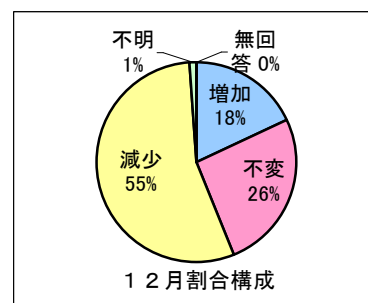
《業種別》		《地区別》	
農林業	31 件	中津川	133 件
建設業	51 件	坂下・川上・山口	15 件
製造業	62 件	加子母・付知・福岡・蛭川	74 件
運輸業	4 件	計	222 件
卸・小売業	32 件		
サービス業	42 件		
計	222 件		

【景況感調査】

1) 受注（売上高）について

①前年同期と比べて

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
増加	11	23	41	7	15	18
不変	30	23	56	19	15	26
減少	112	103	122	70	69	55
不明	5	1	2	3	1	1
無回答	1	0	1	1	0	0



- ◎ 9月と比べ「減少」が、14%減り55%に「増加」が3%増え18%と、全体的には緩やかな改善傾向を示しています。

「増加」の内訳

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
～10%未満	2	4	12	18	17	29
～20%未満	4	6	8	36	26	20
～30%未満	1	5	4	9	22	10
～40%未満	1	3	4	9	13	10
～50%未満	0	1	1	0	4	2
50%以上	1	2	7	9	9	17
無回答	2	2	5	17	8	12

- ・ 増加率は、9月に10%から40%未満が61%あったものが、今回は20%未満が49%と縮小傾向と50%以上が17%と拡大傾向の両極端な結果となっています。

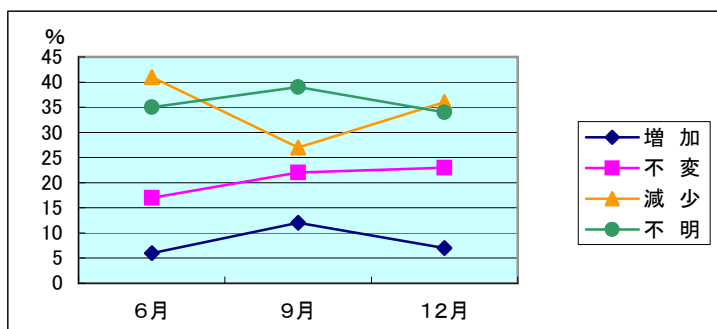
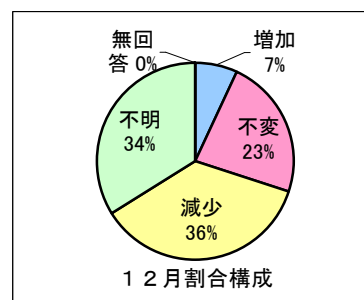
「減少」の内訳

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
～10%未満	12	18	15	11	16	12
～20%未満	25	33	51	22	30	42
～30%未満	25	23	20	22	21	16
～40%未満	13	15	16	12	14	13
～50%未満	11	5	1	10	5	1
50%以上	12	9	7	11	8	6
無回答	14	8	12	13	7	10

- ・ 30%未満の「減少」という回答が9月は67%でしたが、今回も70%とほぼ同じ結果となっています。

② 6ヶ月先の見通し

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
増加	10	18	15	6	12	7
不変	27	33	52	17	22	23
減少	66	40	80	41	27	36
不明	55	59	75	35	39	34
無回答	1	0	0	1	0	0



- ◎ 9月に比べ「減少」の予想が27%から36%に増え、「増加」の予想も12%から7%に減り、悪化傾向を見込んでいますが、「不明」もまだ34%あり、不透明感はまだ続いています。

「増加」の内訳

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
～10%未満	2	2	4	20	11	27
～20%未満	3	7	4	30	39	27
～30%未満	1	4	5	10	22	33
～40%未満	2	1	0	20	6	0
～50%未満	0	0	0	0	0	0
50%以上	2	3	0	20	17	0
無回答	0	1	2	0	6	13

- 9月の「増加」は、10%～30%未満が61%と集中していましたが、今回は「無回答」以外は30%未満に集中し、大きな伸びが見込めない予想となっています。

「減少」の内訳

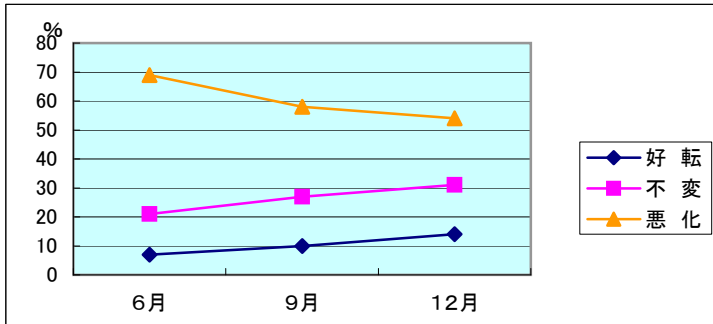
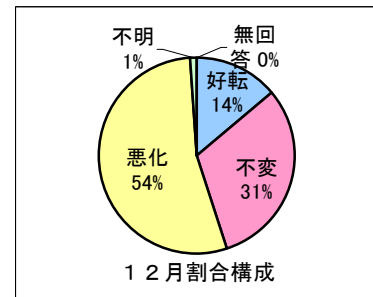
	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
～10%未満	10	8	18	15	20	23
～20%未満	15	12	23	23	30	29
～30%未満	14	5	12	21	13	15
～40%未満	10	2	4	15	5	5
～50%未満	2	0	1	3	0	1
50%以上	3	2	3	5	5	4
無回答	12	11	19	18	28	24

- 9月とほぼ同じく30%未満の「減少」の予想が67%を占めています。また、「無回答」もほぼ同じ24%あり、不透明感が続く予想となっています。

2) 採算(収益)性について

①前年同期と比べて

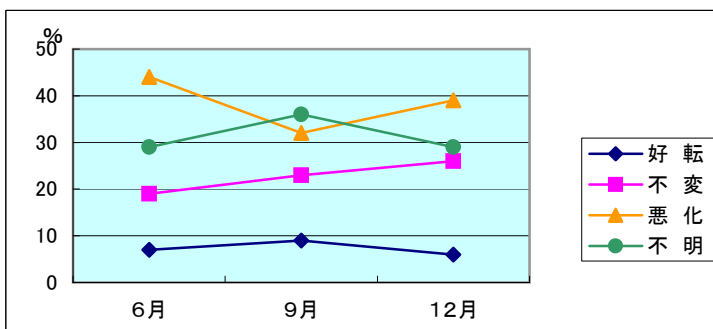
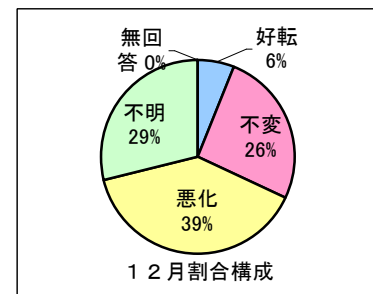
	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
好 転	11	15	32	7	10	14
不 変	33	40	68	21	27	31
悪 化	110	87	120	69	58	54
不 明	5	6	2	3	4	1
無回答	0	2	0	0	1	0



◎ 9月に比べ「悪化」が58%から54%と少し減り、「好転」も10%から14%と微増しており、全体的に緩やかな改善傾向を示しています。

②6ヶ月先の見通し

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
好 転	12	13	13	7	9	6
不 変	30	35	57	19	23	26
悪 化	70	48	88	44	32	39
不 明	46	54	64	29	36	29
無回答	1	0	0	1	0	0

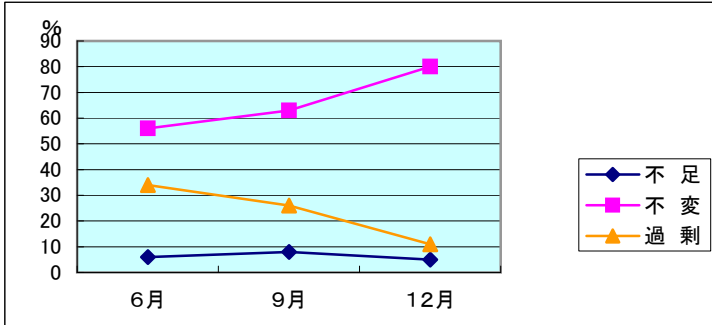
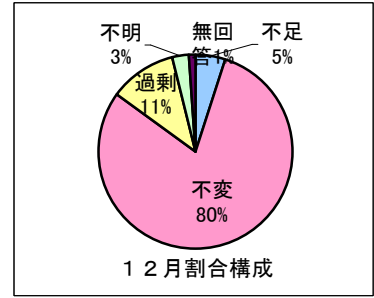


◎ 9月に比べ「悪化」の予想が32%から39%に増え、「好転」の予想も9%から6%に減り、悪化傾向を見込んでいますが、「不明」は29%に減り、不透明感が少し薄らぐ見込みとなっています。

3) 従業員について

① 前年同期と比べて

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
不足	9	12	12	6	8	5
不変	89	94	177	56	63	80
過剰	54	39	25	34	26	11
不明	5	2	6	3	1	3
無回答	2	3	2	1	2	1



◎ 9月に比べ「過剰」が26%から11%に減り、「不変」が63%から80%に増加しており改善しながら安定する傾向を示しています。

「過剰」の場合の実施策（複数回答）

	回答件数		
	6月	9月	12月
雇用調整	23	13	7
ワークシェアリング	8	10	11
助成金の活用	30	20	10
その他	4	4	2
無回答	3	6	6

<その他の内容>

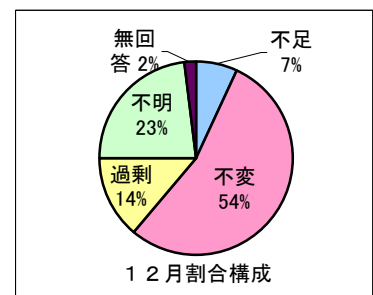
- ・労働時間の削減。
- ・1年後に退職者（2名）を控えている為。

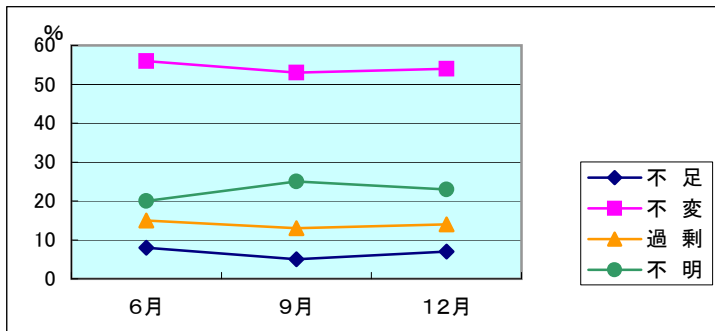
<雇用調整の内訳>

	回答件数		
	6月	9月	12月
解雇を伴うもの	18	13	7
うち正規	0	5	2
うち非正規	6	3	2
うち正規非正規	10	3	2
うち無回答	2	2	1
解雇を伴わないもの	5	0	0

② 6ヶ月先の見通し

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
不足	12	8	15	8	5	7
不変	89	79	120	56	53	54
過剰	24	19	30	15	13	14
不明	32	38	52	20	25	23
無回答	2	6	5	1	4	2





◎ 9月に比べ 全体的にほぼ同じ見込みとなっており、改善とも悪化とも判らない予想となっています。

「不足」人数の内訳

	回答件数		
	6月	9月	12月
～2人以内	5	4	9
～5人以内	5	3	4
～10人未満	0	1	0
～20以内	1	0	0
無回答	1	0	2
人数	45	24	26

「過剰」人数の内訳

	回答件数		
	6月	9月	12月
～2人以内	5	6	14
～5人以内	4	3	5
～10人未満	6	0	2
～20以内	1	1	0
無回答	8	9	9
人数	93	38	61

- ・ 「不足」人数は9月とほぼ同じ見込みの26人となっています。(無回答を除く)

- ・ 「過剰」人数は9月の38人から61人と過剰感が増す予想となっています。(無回答を除く)

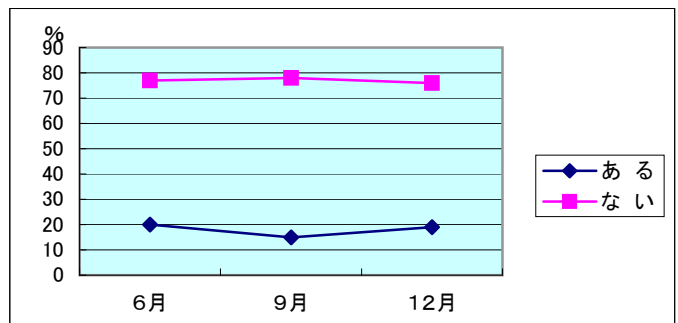
③平成22年春の採用予定

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
ある	32	23	42	20	15	19
ない	123	117	169	77	78	76
無回答	4	10	11	3	7	5

- ・ 新規採用は9月の15%から19%に増加し、6月時点に戻った形となりました。

「ある」の採用予定人員の内訳

	回答件数		
	6月	9月	12月
～2人以内	17	18	31
～5人以内	12	3	7
～10人未満	0	0	1
～20以内	0	1	1
無回答	3	1	2
人数	75	44	72

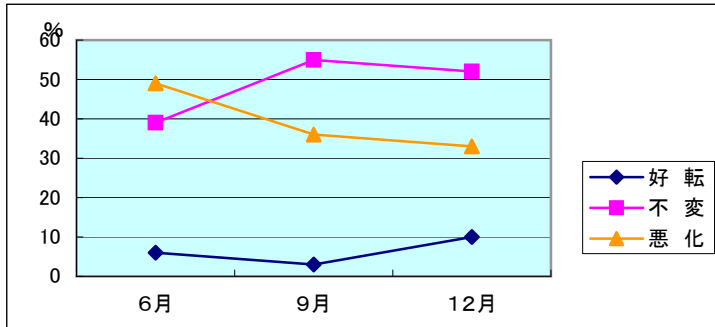
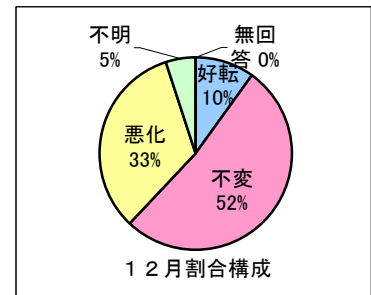


- ・ 採用予定人員も、72人と6月時点の75人にほぼ戻った形となりました。

4) 資金繰りについて

①前年同期と比べて

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
好転	10	5	22	6	3	10
不変	62	83	116	39	55	52
悪化	78	53	73	49	36	33
不明	9	8	11	6	5	5
無回答	0	1	0	0	1	0



◎ 9月に比べ「悪化」が36%から33%と少し減り、「好転」も3%から10%に増加しており、緩やかな改善傾向を示しています。

「悪化」要因（複数回答）

	回答件数		
	6月	9月	12月
販売不振等の営業要因	43	32	42
金融機関の融資条件	11	9	10
その他	9	4	10
無回答	18	11	14

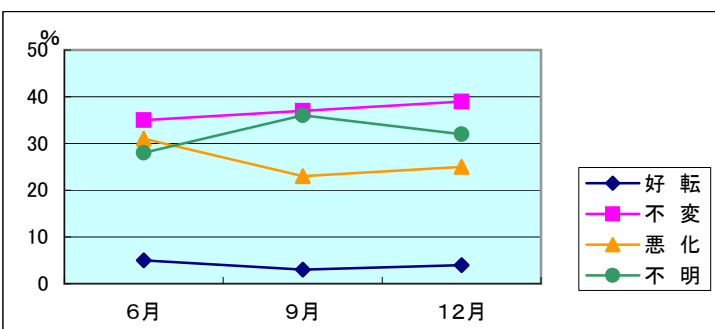
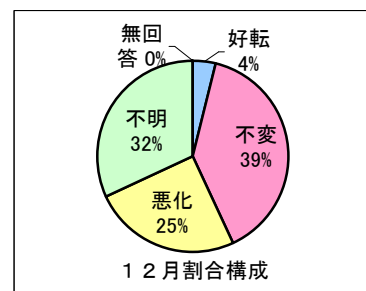
＜その他の内容＞

- ・低収穫による収益減少。 4件
 - ・売上、粗利益の減少。 4件
 - ・底値。
- (無回答 1件)

・「悪化」の最大の要因は、今回も6月、9月も販売不振となっています。

②6ヶ月先の見通し

	回答件数			割合%		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月
好転	8	4	9	5	3	4
不変	56	55	87	35	37	39
悪化	49	35	56	31	23	25
不明	45	54	70	28	36	32
無回答	1	2	0	1	1	0



◎ 9月に比べ 全体的にほぼ同じ見込みとなっており、改善とも悪化とも判らない予想となっています

【ニーズ調査】

5) 行政へ望むもの

「行政に望むもの」の概要

【全体】

- ・工事や事業の発注に関係する要望、「地元企業に優先的に工事や事業を発注」などが31件と6月、9月調査に引き続き多く、要望されています。
- ・次に、「地産地消の推進」などが14件、「生産物の価格の安定」など農林業の支援が13件、「固定資産税の減税」など税の減免に関するものと「住宅の新築の促進のための減税や助成」などの住宅支援に関するものがそれぞれ8件、「金融支援の継続」など金融支援に関するもの、対策の推進に関するもの、地域等の活性化に関するものがそれぞれ7件、「雇用関係助成金の継続」など雇用に関するものが6件、要望が出されています。
- ・その他の緊急経済対策関連では、工業に対する支援、空家対策などの要望が5件でした。
- ・市政に対する要望が、林業関係や行政改革の推進など6件、また、「要望なし。」や「アンケートが無駄」などが6件ありました。

【業種別】

- ・建設業で31件中21件が発注関係で大多数を占め、卸・小売関係でも、22件中6件が発注関係で、他に特に多いものはありませんでした。
- ・つぎに農林業、製造業、運輸業やサービス業では、内容も色々と特に多いものはありませんでした。

6) なかがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

「取組みについて」の意見の概要

- ・肯定的な意見は、「どんどん進めてほしい。」や「良い事だと思います。」などが46件、否定的な意見は、「効果が良く分らない。」や「特になし。」などで10件でした。
- ・要望としての意見は、公共事業の発注関係が10件、地産地消の推進と雇用対策がそれぞれ6件、金融支援関係が2件、その他の要望が2件でした。